

【参考1】現状のシステム等との連携と今後の対応について(案)

(*1)：現行システムで連携がないものは「－」と表記。

(*2)：データ要件・連携要件標準仕様書各論（基本データリスト・機能別連携仕様）の介護保険システムでの記述の有無

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	連携対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
1	1	住民基本台帳システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	○		○	パッケージシステムが標準仕様書に適合していれば問題はないと思われる。標準仕様対応した介護保険システムへの移行段階で、住民基本台帳システムとの連携機能の切り替えタイミング等を調整してシステム移行を行う。
2	2	住民基本台帳システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	受信	○		○	
3	3	個人市・府民税システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	○		○	個人住民税システムとの連携に関する要件を以下とする。 1.個人住民税システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2.但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、個人住民税システムが現行システム（ACOS(NEC製汎用コンピュータ)）で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。
4	4	個人市・府民税システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	受信	○		○	個人住民税システムとの連携に関する要件を以下とする。 1.個人住民税システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2.但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、個人住民税システムが現行システム（ACOS(NEC製汎用コンピュータ)）で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。
5	5	国民健康保険システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	○		○	国民健康保険システムとの連携に関する要件を以下とする。 1.国民健康保険システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2.但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、国民健康保険システムが現行システム（ACOS(NEC製汎用コンピュータ)）で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。
6	6	国民健康保険システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	受信	○		○	国民健康保険システムとの連携に関する要件を以下とする。 1.国民健康保険システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2.但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、国民健康保険システムが現行システム（ACOS(NEC製汎用コンピュータ)）で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
7	7	国民年金システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	受信	○		×	介護保険システムにおいてはシステム間連携は想定されていない(標準仕様上連携のI/Oの記述がない)ため、介護保険システムが先行して標準仕様対応となった場合に、現行の連携ができなくなる可能性があるため、年金システム側が標準仕様対応となるまでの間の連携内容・方法を調整した上で要件とし、パッケージが想定する処理の確認、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
8	8	年金生活者支援給付金システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	×		×	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
9	9	敬老乗車証システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	×		×	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
10	—	老人医療システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送受信なし	×	現行においては連携なし。	×	介護保険システムの標準化対応後に、「老人医療システム」との連携が必要となった場合は、調整を行う。
11	10	障害福祉システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	○		○	障害福祉システムとの連携に関する要件を以下とする。 1. 障害福祉システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2. 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、障害福祉システムが現行システム(ACOS(NEC製汎用コンピュータ))で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
12	-	障害福祉システム	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	受信	○	現行においては連携なし。	○	障害福祉システムは標準化対象システムであり、介護保険システム側も標準仕様を要件とする。
13	11	後期高齢者医療システム	京都府後期高齢者医療広域連合	送信	○		○	<p>税停止証明情報の扱いについて後期高齢者医療システム側と調整を行った上で、後期高齢者医療システムとの連携に関する要件を以下とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、後期高齢者医療システムが現行システム(ACOS(NEC製汎用コンピュータ))で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。 税停止証明情報について必要な連携をとること。(調整の結果必要である場合)
14	12	後期高齢者医療システム	京都府後期高齢者医療広域連合	受信	○		○	<p>後期高齢者医療システムとの連携に関する要件を以下とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、後期高齢者医療システムが現行システム(AOCS)で稼働していることを想定し、ACOS(NEC製汎用コンピュータ)との連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。
15	13	避難行動要支援者名簿	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	×		×	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
16	14	特定検診	ACOS(NEC製汎用コンピュータ)	送信	×		×	本連携を要件としてRFIを実施し、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
17	15	認定支援システム	データセンター(仮想化基盤)	送信	×		○	「認定支援システム」について、「認定ソフトのインターフェース仕様書(介護保険総合データベースシステム改訂版に関する説明書)」に準じているか、または準じる計画があるか確認する。
18	16	認定支援システム	データセンター(仮想化基盤)	受信	×		○	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
19	17	財務会計システム	データセンター(仮想化基盤)	受信	×		○	財務会計システムから、標準化対応の介護保険システムに必要なデータ項目を提供できるか確認を行う。
20	18	生活保護システム	データセンター(仮想化基盤)	受信	○		○	生活保護システムとの連携に関する要件を以下とする。 1. 生活保護システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。 2. 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、生活保護システムが現行システム(VMWare 環境でのWebサーバ・APサーバ等)で稼働していることを想定し、現行の生活保護システムとの連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。
21	-	生活保護システム	データセンター(仮想化基盤)	送信	○	現行においては連携なし。	○	生活保護システムは標準化対象システムであり、介護保険システム側も標準仕様を要件とする。
22	19	地域包括ネットワークシステム	データセンター(物理サーバ)	送信	×		○	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
23	-	地域包括ネットワークシステム	データセンター(物理サーバ)	受信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
24	20	伝送システム	スタンドアロン	送信	×		○	<p>京都府国保連合会の介護保険システムとの連携に関する要件を以下とする。</p> <p>1. 京都府国保連合会の介護保険システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。</p> <p>2. 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、京都府国保連合会の介護保険システムが現行システムで稼働していることを想定し、現行の京都府国保連合会の介護保険システムとの連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。</p>
25	21	伝送システム	スタンドアロン	受信	×		○	<p>京都府国保連合会の介護保険システムとの連携に関する要件を以下とする。</p> <p>1. 京都府国保連合会の介護保険システムが標準仕様対応のシステムとなる時点で、標準仕様の連携を行うこと。</p> <p>2. 但し、介護保険システムの標準仕様対応時点で、京都府国保連合会の介護保険システムが現行システムで稼働していることを想定し、現行の京都府国保連合会の介護保険システムとの連携方法・内容を調整した上で要件として、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を行うこと。</p>
26	22	トリトンモニター	スタンドアロン	送信	×		×	<p>本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。</p>
27	-	CareWorks21	スタンドアロン	送受信なし	×	現行においては連携なし。	×	<p>介護保険システムの標準化対応後に、「CareWorks21」との連携が必要となった場合は、調整を行う。</p>

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
28	23	特別養護老人ホーム入所申込状況把握システム	スタンドアロン	送信	×		×	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
29	24	総合収納システム	LGWAN-ASP	受信	×		×	本連携を要件としてRFIを実施し、導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
30	—	指定事業者等管理台帳システム	LGWAN-ASP	送受信なし	×	現行においては連携なし。	×	介護保険システムの標準化対応後に、「指定事業者等管理台帳システム」との連携が必要となった場合は、調整を行う。
31	25	医療と介護等統合データ分析事業	不明	送信	×		×	本連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
32	26	申請管理	—	受信	×		○	R5.3頃に開始予定の介護ワンストップサービスとの連携が、介護保険システムが標準仕様対応となった時点で問題がないか確認した上で、介護保険システム側で対応する必要がある場合は、必要連携を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としていない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
33	—	申請管理	—	送信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
34	—	住登外宛名番号管理	—	受信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
35	—	住登外宛名番号管理	—	送信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。

連番	現行のデータ連携状況						標準仕様書の有無確認(*2)	今後の対応について
	No(*1)	関係対象システム	システム基盤	介護保険システムからみた送信/受信	標準化対象(連携先システム)	現行における連携の有無		
36	-	団体内統合宛名管理	—	受信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
37	27	団体内統合宛名管理	—	送信	×		○	現行システムでの団体内統合宛名管理へのデータ送信を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
38	-	他市区町村	—	受信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
39	-	他市区町村	—	送信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
40	-	医療保険者	—	受信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。
41	28	介護認定審査会	—	受信	×		○	現行システムでの独自フォーマットでデータ受信・送信を要件として導入パッケージに当該連携が可能であるかの確認を行うとともに、標準パッケージ機能としてない場合は、オプション機能としての具備、EUCツール等による連携の提案を要請し検討する。
42	29	介護認定審査会	—	送信	×		○	
43	-	健康管理システム		送信	×	現行においては連携なし。	○	連携が必要となった場合は、標準化対応の介護保険システムに合わせた連携をとることとする。